

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kids-House(じいる)		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 28日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 28日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性に応じた個別支援が安定して提供できている点	視覚支援や環境構成を工夫し、見通しを持って安心して過ごせる環境づくりを行っている。	地域交流の機会を増やし社会性向上と地域連携の強化を図る。
2	職員間での情報共有と連携体制が整っており支援の質が安定している点	日々の振り返りや記録を活用し、支援内容や課題を共有し統一した支援を行っている。	外部研修や専門家の助言を取り入れ支援の専門性向上を図る。
3	保護者との信頼関係が構築されており継続的な連携が図れている点	連絡帳や面談を通して日々の様子を共有し、保護者の意向を支援に反映している。	保護者同士の交流機会を設け保護者支援の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や関係機関との連携機会が限られている点	日常業務中心となり外部連携の機会確保が十分でないため	地域活動や外部交流の機会を計画的に取り入れ連携強化を図る。
2	第三者評価の実施体制が整っていない点	外部評価の導入体制や機会が未整備であるため	第三者評価の導入を検討し客観的な視点を取り入れる。
3	保護者同士の交流支援が十分ではない点	交流の場の設定や機会提供が十分にできていないため	保護者会等の開催を検討し交流機会の確保に努める。